



平成 21 年 11 月 17 日

各 位

東京都港区浜松町一丁目 27 番 16 号

株式会社インフォマート

代表取締役社長 村上 勝照

(コード番号:2492 東証マザーズ)

問い合わせ先 常務取締役兼管理本部長

藤田 尚武

電話 (03)5777-1710

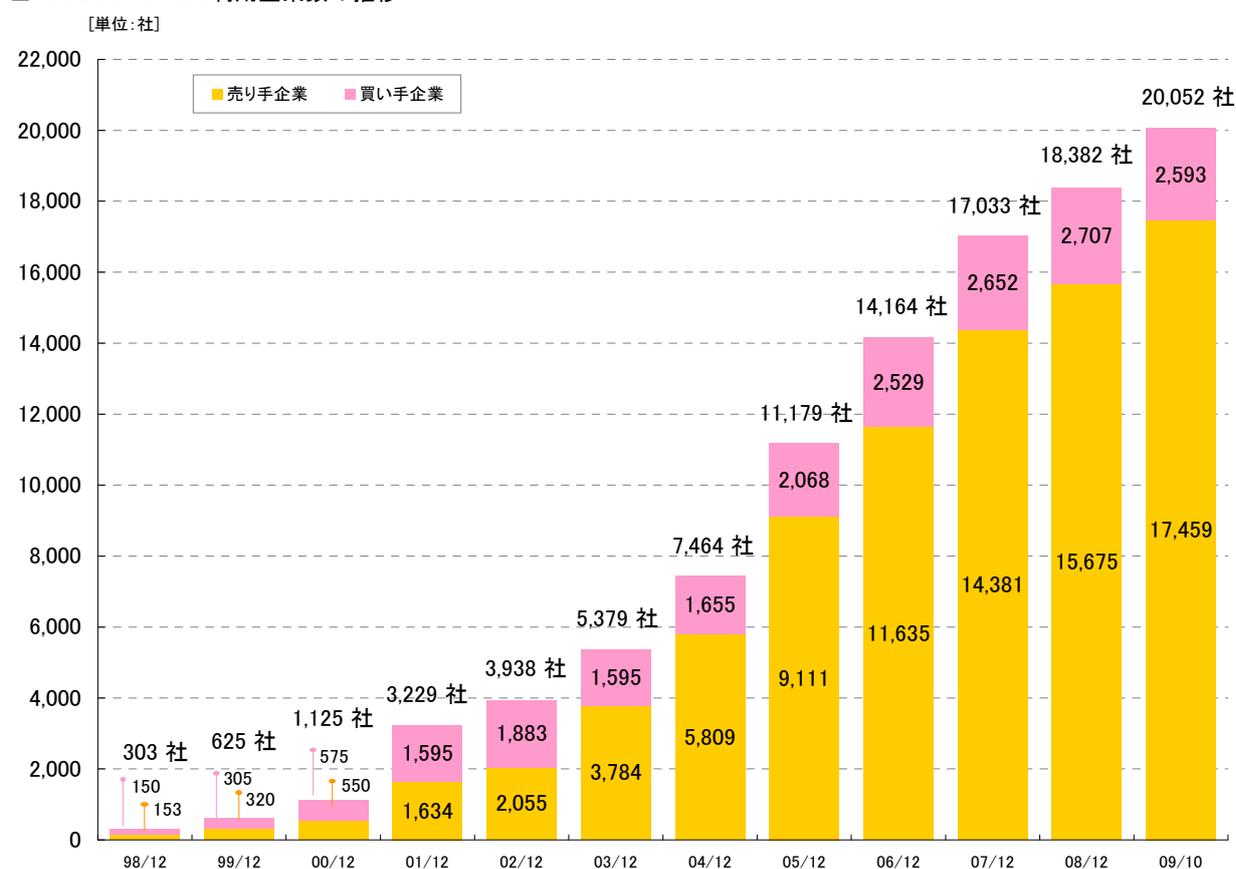
「FOODS Info Mart」利用企業数 2 万社到達のお知らせ

- フード業界の標準化システムに向け、さらに前進 -

当社が 1998 年より運営しておりますフード業界企業間電子商取引 (BtoB) プラットフォーム「FOODS Info Mart (フーズインフォマート)」の利用企業数が 2009 年 10 月末に 2 万社に到達いたしました。その内容に関し、下記の通りお知らせいたします。

記

■ FOODS Info Mart 利用企業数の推移



(注) 「FOODS Info Mart」利用企業数は、各事業のシステムにて重複する利用企業数を差し引いた正味の全体企業数です。

1. 各サービスの経緯

(1) ASP 商談システム

1998年創業時よりサービスを提供しております「ASP 商談システム（当時 e マーケットプレイス）」は、フード業界におけるマッチングサービスから、現在は既存取引先及び全国の企業との商談業務に役立つサービスへと拡張しております。また、売り手利用企業には、「ASP 商談システム」を自社商品カタログデータベースとして活用できる機能も盛り込み、日常業務で利用するシステムへと進化しております。

(2) ASP 受発注システム

2003年にサービス提供を開始した「ASP 受発注システム」では、外食チェーンと取引先である卸やメーカーにおける、日々の受発注業務から買掛・売掛管理、請求・支払いまでの経理業務をデータ化し、「仕入・販売の見える化」を実現する仕組みとなっております。サービス開始からわずか6年で、外食企業を中心とした656社の14,275店舗と15,091社の取引先が毎日の受発注業務に当システムを活用されるまでになりました。「ASP 受発注システム」の取扱流通額は、年間5,200億円(2009年度見込)になり、成長を続けております。

(3) ASP 規格書システム

2005年にサービス提供を開始した「ASP 規格書システム」では、フード業界における最も重要なテーマである「食の安全・安心」に関わるシステムの提供をしております。食品流通時に必要となる「商品規格書」をデータベース化し、取扱商品の原材料原産国や、アレルギー情報、品質情報など様々な項目を瞬時に確認できるシステムとなっております。自社の取扱商品のリスク管理も可能であり、現在の食の安全・安心ニーズに合致した仕組みとしてナショナルメーカー及びチェーン外食・スーパーなどの大手企業を中心に採用が進んでおります。

2. 今後の見通し

FOODS Info Mart では、引き続き利用企業へより良いシステムを提供すべく、時代にあったシステムへとリニューアルを重ね、顧客満足度向上につながるよう努力をして参ります。また、更なる営業活動の強化を図り、システムの利用企業増加に向け取り組んで参ります。

利用企業数が2万社へ到達したことは、平成21年2月12日に発表いたしました「平成21年12月期業績予想」に対して概ね計画通り進んでいるものであります。今後、当システム提供の進捗状況が、業績に重要な影響を与えることが判明した場合には速やかにお知らせいたします。

以上

【参考資料 2009年10月末の利用企業数等】

		9月末	10月末	増減
ASP商談システム	売り手利用企業数	2,337社	2,366社	29社
	買い手利用企業数	2,550社	2,546社	△4社
ASP受発注システム	買い手利用企業数	636社	656社	20社
	買い手利用店舗数	13,978店舗	14,275店舗	297店舗
	売り手利用企業数	14,831社	15,091社	260社
ASP規格書システム	採用企業数	3,079社	3,172社	93社
	商品規格書掲載数	128,793アイテム	134,118アイテム	5,325アイテム